

特集「社会の変革に挑戦するセキュリティ技術と プライバシー保護技術」の編集にあたって

寺田 雅之^{1,a)}

計算機の処理能力向上と小型化、および通信ネットワークの高速化は、たとえば20年前のインターネットの普及前には想像が困難であったほどの、社会や生活スタイルの変革をもたらした。その一方で、この変革は「サイバー犯罪」という言葉に代表されるような新しいリスクも生み出し、その脅威はネット社会の高度化にともない複雑化・深刻化している。コンピュータセキュリティ技術は、このようなリスクを解消もしくは軽減するために日々発展を遂げており、その正しい活用は、私たちの生活の安心と安全を守るために、いまや欠かせないものである。

さらに、「守る」だけにとどまらず、その技術の発展は新たな利便性をもたらすサービスを生み出す原動力ともなりつつある。たとえば、Bitcoinを先駆けとするFintechの隆盛はセキュリティ技術なしには成り立たず、その実現が急務とされるビッグデータの幅広い活用も、プライバシー保護に関する技術的な裏付けとその普及が鍵を握っている。特にプライバシー保護技術に関しては、今後のIoT応用やビッグデータ活用の円滑な普及のためには、セキュリティやプライバシーの専門家に限らない、幅広い技術者による正しい理解と活用がますます重要となってくるであろう。

本特集号は、これらの社会の変革をもたらす脅威に立ち向かい、さらには自ら社会の変革を生み出すようなセキュリティ技術およびプライバシー保護技術について、基礎理論から実装例、さらには行動科学や社会科学的考察をも含めた課題と解決策を広く議論することにより、今後のICT環境の有益な活用と安全確保の両立に寄与していくことを目指して企画された。

本特集号には45件の論文が投稿され、特集号編集委員会による慎重な審議を経て英文論文6件を含む25件の論文が採択された。採択率は約56%と比較的高いものであったが、これは一回目査読で条件付採録となった論文が、高い比率で二回目査読において採録と判定されたことを反映している。ひとえに本特集号の編集委員および査読者による的確な著者への助言と、著者の方々による真摯かつ適切な

な対応の賜物であり、この場を借りて深い感謝を申し上げたい。

さらに本特集号では招待論文として、2015年10月に開催された第1回プライバシーワークショップ(PWS2015)実行委員長の菊池浩明教授(明治大学)より、同ワークショップにおいて開催された匿名加工・再識別コンテストについて、同コンテスト開催の背景から実施にあたっての技術的課題、今後の展望などについて執筆いただいた。世界でほとんど前例がない種類のコンテストであり、関係各位の苦勞が滲みでるものとなっている。ご多忙の中、執筆をご快諾いただいた菊池教授に感謝する。本論文の掲載が日本におけるプライバシー保護技術に関する研究開発の活性化に寄与できれば幸いである。

特集号の編集にあたり、限られた時間の中で、上記のような質の高い査読と各種の編集作業を経て予定どおり発行することができたのは、査読者や編集委員ならびに学会関係者の方々の多大なるご尽力のおかげであり、厚く御礼を申し上げる。特に、越前功幹事(国立情報学研究所)と加藤岳久幹事(東芝)には、とりまとめの中心として、細部にわたり献身的に運営いただいた。心よりの感謝を申し上げます。

「社会の変革に挑戦するセキュリティ技術とプライバシー保護技術」特集号編集委員会

- 編集長
寺田雅之 (NTTドコモ)
- 幹事
越前 功 (国立情報学研究所), 加藤岳久 (東芝)
- 編集委員
大久保隆夫 (情報セキュリティ大学), 大東俊博 (東海大学), 岡本栄司 (筑波大学), 岡本 健 (筑波技術大学), 沖野浩二 (富山大学), 金岡 晃 (東邦大学), 姜玄浩 (東京理科大学), 菊池浩明 (明治大学), 齋藤孝道 (明治大学), 佐々木良一 (東京電機大学), 島岡政基 (セコム), 須賀祐治 (IIJ), 鈴木幸太郎 (NTT), 高木 剛 (九州大学), 高倉弘喜 (国立情報学研究所),

¹ NTTドコモ, 先端技術研究所
Research Laboratories, NTT DOCOMO, Inc., Yokosuka,
Kanagawa 239-8536, Japan

^{a)} teradam@nttdocomo.com

高橋健一 (鳥取大学), 田中 清 (信州大学), 千田浩司 (NTT), 手塚 悟 (東京工科大学), 寺田真敏 (日立製作所), 土井 洋 (情報セキュリティ大学), 鳥居 悟 (富士通研究所), 中西 透 (広島大学), 西垣正勝 (静岡大学), 西出隆志 (筑波大学), 野島 良 (情報通信研究機構), 朴 美娘 (神奈川工科大学), 堀良彰 (佐賀大学), 本郷節之 (北海道工業大学), 松浦幹太 (東京大学), 松中隆志 (KDDI 研究所), 満保雅浩 (金沢大学), 宮地充子 (北陸先端大学), 村山優子 (岩手県立大学), 毛利公一 (立命館大学), 山内利宏 (岡山大学), 吉岡克成 (横浜国立大学), 吉浦 裕 (電気通信大学), 渡邊裕治 (日本 IBM)